

目 次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1

II 回答者の属性

一般	2
中学生・高校生	6
幼児・小学生（保護者）	9

III 調査結果の詳細 — — 般 —

(1) 食育の認知度	13
(2) 食育の関心度	15
(3) 食育の実践度	19
(3-1) 実践しない理由	24
(4) 食生活の問題点の有無	26
(4-1) 問題点の内容	28
(5) 朝食摂取度	30
(5-1) 食べない理由	34
(6) 家族や友人との朝食（共食）	36
(7) 家族や友人との夕食（共食）	39
(8) 食事の際のマナー	42
(9) 咀嚼	44
(10) 食べ残しや食品の廃棄への関心	48
(11) 食堂、レストラン等が提供する食事の栄養バランス	50
(12) 外食の利用頻度	52
(12-1) 外食でのメニューの選び方	55
(13) 中食の利用頻度	57
(13-1) 中食でのメニューの選び方	60
(14) 飲食業者に対する希望	62
(15) 食事バランスガイドの認知度	64
(15-1) 食事バランスガイドの利用度	68
(16) メタボリックシンドロームの認知度	70
(17) メタボリックシンドロームの予防や改善のための取組の継続的実践	72
(17-1) メタボリックシンドロームの予防や改善のための取組	77

(17-2) 予防や改善のための取組を実践しない理由	79
(18) 減塩の取り組み	81
(18-1) 減塩の取組を実践しない理由	83
(19) 1日に必要な野菜摂取量	85
(19-1) 野菜を摂取しない理由	87
(20) 食生活改善推進員・健康づくり推進員の認知度	89
(21) 食品の安全性への不安	91
(21-1) 不安の内容	93
(22) 食品の安全性についての情報や知識の習得	95
(22-1) 食品の安全性についての情報や知識の習得方法	97
(22-2) 食品の安全性についての情報や知識を習得しない理由	99
(23) 食品の安全性の向上	101
(24) 地産地消の認知度	103
(25) 地場農産物の購入	105
(25-1) 地場農産物にこだわらない理由	107
(26) 食文化や伝統料理への関心度	109
(26-1) 食文化や伝統料理に关心を持つためのきっかけ	111
(27) 日本型食生活の認知度	113
(28) 日本型食生活の実践度	115

IV 調査結果の詳細 — 中学生・高校生 —

(1) 食育の認知度	117
(2) 食育の関心度	119
(3) 食生活の問題点の有無	121
(3-1) 問題点の内容	123
(4) 朝食摂取度	125
(4-1) 食べない理由	128
(5) 家族との朝食（共食）	130
(6) 家族との夕食（共食）	132
(7) 咀嚼	134
(8) 食事の際のマナー	136
(9) 食べ残しや食品の廃棄への関心	138
(10) 食事バランスガイドの認知度	140
(10-1) 食事バランスガイドの利用度	142
(11) 就寝時刻	144
(12) 起床時刻	146
(13) メタボリックシンドロームの認知度	148
(14) 地産地消の認知度	150
(15) 食品の安全性への不安	152

(15-1) 不安の内容	154
(16) 食文化や伝統料理への関心度	156

V 調査結果の詳細 — 幼児・小学生（保護者）—

I 子どものことについて

(1) 朝食摂取度	158
(1-1) 朝食を食べない理由	160
(2) 家族との朝食（共食）	162
(3) 家族との夕食（共食）	164
(4) 就寝時刻	166
(5) 起床時刻	168
(6) 咀嚼	170
(7) 好き嫌い	172
(7-1) 嫌いなものを食べさせる工夫	174
(8) 食生活の問題点の有無	176
(8-1) 問題点の内容	178
(9) 実践している食育	180

II 保護者のことについて

(10) 食育の認知度	182
(11) 食育の関心度	184
(12) 食事の際のマナー	186
(13) 食べ残しや食品の廃棄への関心	188
(14) 食品の安全性への不安	190
(14-1) 不安の内容	192
(15) 地場農産物の購入	194
(16) メタボリックシンドロームの認知度	196
(17) メタボリックシンドロームの予防や改善のための取組の継続的実践	198
(17-1) メタボリックシンドロームの予防や改善のための取組	200
(17-2) 予防や改善のための取組を実践しない理由	202

VI 資料（調査票）

一般	204
中学生・高校生	214
幼児・小学生（保護者）	220

